



当院では、他医療機関からのご紹介による患者受診受付を、患者支援部門地域連携室で承っております。

患者さまのご紹介

受診・検査・入院予約について

TEL 011-812-2311 〔内線 1459〕 または TEL 011-817-5120

FAX 011-817-5130 予約・予約変更の電話受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00 / 土曜 9:00～12:00

■ ご紹介の流れ 当院では、適切な説明のもとに、受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択されるよう努力しております。患者さん・ご家族の皆様と緩和ケアの方針に齟齬が生れないよう、可能な限りご説明に関わる情報についてご提供いただきますようお願い申し上げます。

一般外来受診希望者のご紹介

セカンドオピニオン外来、病をよく識る外来（病理相談）を除く

1 ご紹介元医療機関が電話またはFAXを送信

 【診療予約（一般外来）申込票Word】にて予約日時、患者受診科を決定します

2 東札幌病院地域連携室がご紹介元医療機関にFAX

 ●東札幌病院受診予約票（Word）
●問診票（PDF）

3 ご紹介元医療機関が患者さんへ書類をお渡し

 ●紹介状【診療情報提供書（投薬情報含む）】
●予約票 ●問診票

4 患者さまが予約日時に外来受診

 ●保険証 ●紹介状
●予約票 ●問診票 などを持参

※診療予約（一般外来）申込票、東札幌病院受診予約票、外来問診票、外来外科（肛門科）問診票、外来外科（乳腺）問診票、外来歯科・歯科口腔外科問診票は、当院ホームページでダウンロードできます。

〈各種申込票・予約票・問診票ダウンロード〉
<https://www.hsh.or.jp/medical-personnel/>

緩和ケア目的での入院、外来通院希望者のご紹介

1 ご紹介元医療機関が電話にてご連絡

 まずはお電話ください。

2 東札幌病院地域連携室が受診日を調整

 基本的に、ご相談のお電話をいただいた際に調整をいたします。

3 ご紹介元医療機関が当院へFAX送信

 ●診療情報提供書（処方内容含む）のコピー
●患者情報用紙または看護添書のコピー
●保険証のコピー

4 患者さまが予約日時に受診

 ●診療情報提供書（処方内容含む）の原本
●患者情報用紙または看護添書
●検査画像（直近のもの）および採血データ
●保険証原本 ●外来問診票 を持参

※外来問診票は、「患者のみ受診」もしくは「患者と家族が受診」する場合は患者用の外来問診票を、「家族のみ受診」する場合は家族用の外来問診票をご持参ください。※入院・転院患者情報用紙、外来問診票（患者用・家族用）は当院ホームページでダウンロードできます。 <https://www.hsh.or.jp/medical-personnel/>
※保険診療となります。診断群分類包括制度（DPC）の場合など、医事課あての連絡文書をお願いします。

患者支援部だより

第37号

令和3年11月発行



患者支援部のご紹介

患者支援部部門長 多田 正人

内視鏡検査部門に関して

内視鏡検査部部門長 長岡 康裕

がん薬物療法部門のご紹介

がん薬物療法部門長 三原 大佳

The 3rd & 4th Joint Conference
Supports Conference for Palliative and Supportive Care in Cancer

第3回・第4回合同開催

がん緩和ケアに関する国際会議

完全同時通訳

2022.7.21 Thu. - 22 Fri. - 23 Sat.

事前参加登録
ホームページにて受付中
一般演題募集
2021.8.1開始予定
<http://www.aspproconference.com>

札幌パークホテル
札幌市中央区南10条西3丁目

料別
25,000円（税別） / 35,000円（税込）
2人
15,000円（税別） / 20,000円（税込）
10,000円（税別）
※会場内飲食費は別途お支払いください。

会場費
700名
ランチ・ドリンク代
40名

※詳細は上記の通り、詳細は事前登録時にご確認ください。

実行委員会： 栗井 健（医療法人東札幌病院） 藤本 大志（札幌医科大学） 三宅 智（札幌医科大学）
主催：医療法人東札幌病院

関連施設のご紹介

厚別老人保健施設 ディ・グリーン
〒004-0007 札幌市厚別区厚別町下野幌38番18
TEL 011-898-5580 FAX 011-898-6760

在宅療養支援診療所 ヘルスケアクリニック光
〒003-0024 札幌市白石区本郷通11丁目南3番26号
TEL 011-860-1043 FAX 011-860-1044

訪問看護ステーション 東札幌
〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-812-2600 FAX 011-812-2605

ヘルパーステーション 東札幌
〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-841-1129 FAX 011-812-2533

訪問看護ステーション みずほ
〒004-0007 札幌市厚別区厚別町下野幌38番18
TEL 011-898-8085 FAX 011-898-8086

指定居宅介護支援事業所 東札幌
〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-812-2500 FAX 011-812-2533

指定居宅介護支援事業所
ディ・グリーン
〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目
12番28号 長谷川第2ビル 2階
TEL 011-807-5156 FAX 011-807-5157

札幌市白石区 第2地域包括支援センター
〒003-0003 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番25
（株）シグナル 5階
TEL 011-837-6800 FAX 011-837-6801

介護予防センターもみじ台
〒004-0007 札幌市厚別区厚別町下野幌38番18
TEL 011-898-8660 FAX 011-898-6760

医療法人東札幌病院

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35
TEL 011-812-2311 FAX 011-823-9552

<https://www.hsh.or.jp/>

発行 患者支援部
TEL 011-817-5120
FAX 011-817-5130（直通）

発行責任者：医療法人東札幌病院 患者支援部
編集責任者：病院長 西山正彦



患者支援部のご紹介

患者支援部部門長 多田 正人

当院では、2020年5月に病院機能改善の一環として、各部門・部署の再編成が行われました。

それに伴い、地域連携室と医療相談室（MSW課）を統合し、よりスムーズに患者支援業務が行えるよう患者支援部として設置いたしました。

現在、看護師3名・MSW3名・事務員1名で当院に関わる患者様の前方支援・後方支援・その他相談対応を行っております。人数は少ないですが少数精鋭のスタッフが日々患者様やご家族からの相談や他の医療施設との連携をスムーズに行えるよう努力しております。

地域連携室のころから当院と連携していただいている他医療機関には年1回程度訪問させていただき、日ごろの連携業務に対するご意見を伺い、改善に向けた取り組みをしてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大以来、訪問を控えさせていただいております。FAX・電話等により近況報告や連携業務は継続していますが、やはりフェイスtoフェイスでお話をお聞きし情報交換することによって、より信頼関係が生まれるものと感じておりますので、新型コロナウイルス感染がある程度収まりましたら、また各医療施設に訪問させていただければと思っております。忙しい業務の中、大変申し訳ございませんがその際はよろしくお願いいたします。

MSWは外来・入院患者と家族に対して様々な相談や退院・転院に向けての支援を行っておりますが、少子高齢化・核家族化・老々介護などの増加もあり、対応が難しい相談内容も増えています。サポートが必要なケースについては、なるべく早期から介入

し医師・看護師とチームで対応を検討し患者さんが安心して生活を送れるよう最善の対応を心がけております。新型コロナウイルス感染拡大により当院の見学は難しくなっておりますが、パンフレット・写真によるご案内も行っておりますので、ご連絡をお待ちしております。

ボランティア活動も園芸、院内装飾、ソーイングを中心に規模縮小して継続しておりますが、年中行事などで患者さんと直接かかわる場面は少なくなりました。早く通常の活動が行えるよう願っております。

新型コロナの院内感染予防から患者様の受け入れや転院の調整に時間を要したり、入院や面会を制限したことでご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。幸い予防対策が功を奏し院内での感染は発生しておりません。今しばらくご迷惑をおかけしますが、できる限り迅速に対応させていただきますのでよろしくお願いいたします。患者様の多様なニーズに沿った医療・ケア・サポートを目指して努力してまいります。

当院患者支援部による患者さんの状況に応じた他の医療機関との連携や各種医療制度の案内、入院中の金銭管理、心理・社会的サポート、退院時サポート、緩和ケアに関する相談などを早い時期からご活用いただきたくお願い申し上げます。

年間紹介件数 地域連携室 2020年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緩和	66	57	59	55	60	74	78	80	109	80	76	93	887
内科	26	29	31	25	38	34	52	33	35	32	40	41	416
乳腺外科	8	21	15	12	8	11	21	9	23	18	13	21	180
外科	0	1	1	0	7	1	0	1	1	1	1	4	18
細胞診	3	4	3	4	5	6	4	4	2	3	7	4	49
RI	24	21	25	29	23	39	46	35	39	21	35	39	376
MRI	26	23	27	26	24	38	28	28	31	27	23	44	345
CT	10	12	6	10	8	10	23	14	16	17	15	30	171
口腔外科	40	29	45	45	38	43	48	48	52	51	42	51	532
救急車	23	17	10	16	7	13	12	8	10	14	6	14	150
合計	226	214	222	222	218	269	312	260	318	264	258	341	3125

年間相談件数 MSW室 2020年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
心理社会的 問題解決援助	183	105	138	152	149	179	213	153	153	151	139	213
退院援助	185	140	157	173	150	182	153	119	154	108	137	205
受診受療援助	16	8	10	18	10	7	9	6	9	6	10	8
経済問題解決援助	30	36	42	38	8	10	19	33	39	20	7	27
相談件数総数	414	289	347	381	330	378	405	314	362	291	300	460

第3回・第4回合同開催

がん緩和ケアに関する国際会議

同時通訳

主催

医療法人東札幌病院

第3回大会長

照井 健
(医療法人東札幌病院)

第4回大会長

三宅 智
(東京医科歯科大学大学院)

会期

2022年 7/21(木) 22(金) 23(土)

会場

札幌パークホテル

〒064-8589 札幌市中央区南10条西3丁目
TEL 011-511-3131
<https://park1964.com/access/>

事務局

医療法人東札幌病院

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7番35 TEL011-812-2311 FAX011-823-9552
E-mail: office@sapporoconference.com <http://www.sapporoconference.com>

内視鏡検査部門に関して

内視鏡検査部部門長 長岡 康裕

当院は日本消化器内視鏡学会指導施設の指定を受けており内視鏡検査部では専門的な消化器内視鏡診療を担当しております。

高度な内視鏡診断、治療を行うとともに、細径内視鏡や鎮痛鎮静剤を使用した苦痛の少ない『患者様にやさしい』検査を心がけております。

がん専門病院である当院の特徴として、がんの診断・治療・緩和医療分野においても内視鏡診療を活用し、早期消化管がんのESD(粘膜切開剥離術)や消化管スtent治療、消化管や胆膵系のEUS(超音波内視鏡)・EUS-FNA(超音波内視鏡下穿刺吸引術)、頭頸部がん・食道がん放射線化学療法前後のPEG(内視鏡的胃瘻造設)による栄養経路確保など、さまざまな検査治療を行っています。

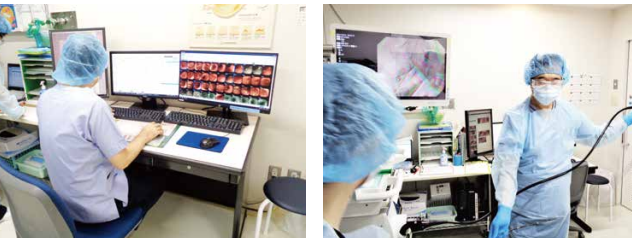
内視鏡機器については最新のオリンパス社製EVIS X-1シリーズシステムと経鼻挿入可能な第3世代極細径上部スコープGIF-1200Nを道内でもいち早く2020年9月に導入致しました。GIF-1200Nは健診・ドックなどスクリーニング検査に使用する直径5.4mmの極細径ながら精密診断用スコープに匹敵するハイビジョン画像を実現し微細な病変も診断可能です。また、今年度導入したハイエンド新機種GIF-EZ1500ではX-1システムのEDOF、4K画質などの性能を最大限に活用可能と



なり、さらに精度の高い診断が可能となりました。一方、昨今のコロナ禍の状況では内視鏡検査においても感染症対策が重要になっております。従前より専用自動洗浄消毒機を使用し、マルチソサエティ実践ガイドラインに沿った高度作用消毒剤(過酢酸)による高レベルの内視鏡機器洗浄・消毒・管理を行っています。さらに、当院感染制御部とも連携し内視鏡学会の指針に準拠した厳重な感染対策を行い患者様とスタッフの安全を十分に確保し検査を行っています。今後とも内視鏡診療を通じて地域の皆様に貢献できれば幸いです。

内視鏡検査実績 2018年～2020年

	2018年	2019年	2020年
内視鏡合計	2220	2370	1720
上部内視鏡	1483	1659	1143
止血術	1	8	9
EMR/ESD	9	5	4
胃ろう造設	10	5	11
食道十二指腸スtent	3	5	3
EUS	28	15	14
下部内視鏡	563	649	505
止血術	2	3	2
ポリペク/EMR	130	178	174
スtent	2	4	3
ERCP	34	49	52
ERBD/EMS	26	36	40
採石・砕石	12	17	13
BF	8	13	6



内視鏡検査部 概要



中央棟
1階

内視鏡検査室

内視鏡専用検査室2室、レントゲン透視室1室(東棟B1F、兼用)。リクライニングチェアを備えたリカバリールームあり

担当スタッフ

医師6名(常勤4名、非常勤2名:日本消化器内視鏡学会の指導医2名、専門医3名)。札幌医科大学腫瘍内科講座から出張医の派遣を受けております(毎週木曜日午後)。専属の看護師、内視鏡検査技師(臨床検査技師)、および外来看護師(兼任)が運営を担当します。

内視鏡検査機器

- 内視鏡マネジメントシステム:Solemio QUEV
国内最高水準のシステムを導入しており、電子カルテシステムとの融合で、正確な診断と分かりやすいインフォームドコンセントを実現しています。
- 上部スコープ:GIF-EZ1500、GIF-H290Z、GIF-H290T(治療処置用)、GIF-1200Nなど
計8台配備しています。
- 下部スコープ:PCF-H290ZI、PCF-PQ260Iなど
いずれも患者様にやさしい細径スコープを計5台配備しています。
- 超音波内視鏡システム:EU-ME2 PREMIER PLUS/
EU-ME2、超音波ガストロビデオスコープ GF-UCT26

がん薬物療法部門のご紹介

がん薬物療法部門長 三原 大佳

消化器・呼吸器・血液・乳腺などのがん患者さまの化学療法(抗がん剤治療)を入院せずに外来通院で行う部門です。外来化学療法室には点滴のためのベッド7人分、リクライニングチェア2人分が用意されており、一般患者さまと別室で治療を受けられる体制をとっています。化学療法は近年では通院しながら安全に実施できるようになりましたが、この際には適切に副作用のマネジメントを行い、仕事や自宅での生活の質(QOL)を落とさずに治療を継続することが重要です。当部では質の高いがん治療を提供するとともに、通院治療中の不安や心配事も含めたサポートを行うように心掛けており、各診療科医師、外来看護師、薬剤師とともに診療に当たっています。



外来化学療法疾患別件数 2020年

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	1,169	86	63	70	83	97	115	118	108	120	108	94	107
乳がん	765	54	34	35	55	68	75	84	72	80	77	61	70
造血期腫瘍	118	8	11	14	16	10	7	12	8	12	5	8	7
大腸がん	89	4	2	9	6	8	11	7	5	7	8	9	13
膵がん・胆道がん	86	3	4	5	6	7	7	9	11	12	7	8	7
食道がん・胃がん	59	7	7	3	2	4	6	8	6	3	4	5	4
肺がん	55	8	5	4	5	6	5	3	3	6	4	3	3
頭頸部がん	10	2	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	2
泌尿器系がん	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1
婦人科系がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(軟部肉腫)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2022年夏、主要各国から有識者をお招きし、弊院主催のもと完全同時通訳にて開催いたします。
がん医療を中心とした専門性を確立するための学際的かつ学術的研究と教育を行う貴重な機会です。
ぜひ、ふるってご参加ください。

会期 2022年

7/21(木) 22(金) 23(土)

会場

札幌パークホテル

札幌市中央区南10条西3丁目

■ 第3回大会長 照井 健 (医療法人東札幌病院)

■ 第4回大会長 三宅 智 (東京医科歯科大学大学院)

主催 医療法人東札幌病院

事前参加登録締切 一般演題募集締切

2022 5/31(火) 2021 11/30(火)

第1日目

7/21(木)

8:00-12:00 シンポジウム1

オピオイドとがんの痛み:
進化するその科学と実践座長: **Russell Portenoy** (MJHS Hospice and Palliative Care, USA)

副座長: 山蔭道明 (札幌医科大学)

副座長: 下山直人 (千葉大学)

“臨床における調和” 最善の臨床を通して、利益を最大に
損益を最小に**Russell Portenoy** (MJHS Hospice and Palliative Care, USA)

基調講演

序論 **Russell Portenoy** (MJHS Hospice and Palliative Care, USA)

オピオイド受容体: 構造と機能、そしてその可塑性

Christoph Stein (Charité-Universitätsmedizin Berlin, Germany)

遺伝子多様性(変化性)とオピオイドの損益との調和について

Pål Klepstad (Norwegian University of Science and Technology, Norway)

がん疼痛管理のシステムの変革に向けて-病態全体から痛みを考える

Marie Fallon (University of Edinburgh, UK)科学的なオピオイド臨床応用の3事例: オピオイド・ローテーション、
突出痛への対応、メサドンの役割**Eduardo Bruera** (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

12:00-13:00 ランチョンセミナー1

オンコロジーと緩和ケアの統合、その歴史と未来への方向性

Stein Kaasa (European Palliative Care Research Center (PRC), Oslo University
Hospital and University of Oslo, Norway)

座長: 照井 健 (東札幌病院)

13:00-17:00 プレナリーセッション1

臨床腫瘍学と緩和ケアの統合-最近の動向

オンコロジーと緩和ケアの統合: 適切な患者のために、適正な時期に
適正な介入を提供する**David Hui** (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

座長: 佐治重衡 (福島県立医科大学)

血液悪性腫瘍の根治的治療と緩和ケアの統合について

Thomas William LeBlanc (Duke University School of Medicine, USA)

座長: 小船雅義 (札幌医科大学)

免疫療法治療薬に伴う免疫関連有害事象

Aung Naing (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

座長: 高橋孝郎 (埼玉医科大学国際医療センター)

がんリハビリテーションと緩和ケア

Jack Fu (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

座長: 辻晃 仁 (香川大学)

17:00-18:00 イブニングセミナー1

緩和ケアの将来に不可欠な要素-パリアティブ・ナーシング

Philip Larkin (Lausanne University Hospital, Switzerland)

座長: 大串祐美子 (東札幌病院)

13:00-17:00 ワークショップ ※別会場にて開催予定

進行がん患者の人生の意味に焦点を当てた精神療法

座長: **William Breitbart** (Memorial Sloan Kettering Cancer Center, USA)

ファシリテーター: 藤澤大介 (慶應義塾大学)、中村健児 (東札幌病院)、

石田真弓 (埼玉医科大学国際医療センター)

第2日目

7/22(金)

8:00-12:00 シンポジウム2

なぜ緩和ケアにスピリチュアル・ケアを
組み込むことが必要なのか座長: **Christina Puchalski** (George Washington University, USA)副座長: **Betty Ferrell** (City of Hope Comprehensive Cancer Center, USA)

副座長: 渡邊知映 (昭和大学)

専門職連携のスピリチュアルケアにおける教育及び臨床
モデル: 緩和ケアの不可欠な要素**Christina Puchalski** (George Washington University, USA)

基調講演

緩和ケアにおける不可欠要素としてスピリチュアルケアの統合を
支援する**Betty Ferrell** (City of Hope Comprehensive Cancer Center, USA)スピリチュアリティと緩和ケア: 最新エビデンスと今後の優先
課題とは?**Karen Steinhäuser** (Duke University School of Medicine and the Durham
Veterans Affairs Medical Center, USA)

スピリチュアル・ケア専門家から見た緩和ケア

Anne Vandenhoeck (Katholieke Universiteit Leuven, Belgium)実存的ないしスピリチュアルな苦痛を持ちながら、
進行性や終末期の病いとともに生きる患者に対して、

スピリチュアルで思いやりのあるケアを取り入れる

Marvin Omar Delgado Guay

(University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

12:00-13:00 ランチョンセミナー2

医学、そして生と死における緩和ケア: その実存的意義

Sheldon Solomon (Skidmore College, USA)

座長: 三宅 智 (東京医科歯科大学大学院)

13:00-17:00 プレナリーセッション2

緩和ケアの臨床における実存的苦痛の要因
とその影響

緩和ケアの実存的問題におけるサイコオンコロジーの役割

Friedrich Stiefel (Lausanne University Hospital, Switzerland)

座長: 中村健児 (東札幌病院)

実存的脅威に直面する患者とのコミュニケーションについて

Peter Salmon (University of Liverpool, UK)

座長: 大西秀樹 (埼玉医科大学国際医療センター)

実存的に苦悩する患者はいかに臨床医に影響を与えるか

Sarah Dauchy (APHP, Centre University of Paris, French)

座長: 清水 研 (がん研究会有明病院)

「死と死に近づく過程」に関する医療と社会の論調とその緩和ケア
への影響について**Camilla Zimmermann** (University of Toronto, Canada)

座長: 中川俊一 (Columbia University Medical Center, USA)

17:00-18:00 イブニングセミナー2

グローバルな緩和ケアの発展に向けて: 国際的な政策過程を
介したケア・サービスと必須薬剤の利用促進についての提言**Joseph Clark** (Wolfson Palliative Care Research Centre, University of Hull, UK)

座長: 日下部俊朗 (東札幌病院)

第3日目

7/23(土)

7:05-12:00 プレナリーセッション3

情報と伝達の技術が導入される緩和ケア
(Technology-enabled palliative care) の現状と将来座長: **David Hui** (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

序論

David Hui (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)第四次産業革命とヘルスケア、特にCOVID-19パンデミック後の
メディカルデジタルトランスフォーメーション

池野文昭 (Stanford University, USA)

ヘルスケアプラットフォームにおけるインテリジェンスの強化-
マイクロソフトの見解

榊原彰 (マイクロソフトディベロップメント株式会社)

遠隔医療、人工知能、デジタル治療など、これらはゲーム“ライズ
オブザロボット”か、それとも“心のこもったケアの未来”か?**Mihir M. Kamdar** (Massachusetts General Hospital, USA)COVIDパンデミックにおける電子患者報告アウトカム測定の実施
と遠隔医療**Augusto Caraceni** (Fondazione IRCCS National Cancer Institute,
Chair of EAPC Research Network, Italy)

Technology-enabled palliative careの倫理的側面

Ralf J. Jox (Lausanne University Hospital, Switzerland)

12:00-13:00 ランチョンセミナー3

新しいサポーティブ・オンコロジー分野の開拓

Declan Walsh (Levine Cancer Institute, Editor-in-chief of BMJ Supportive and
Palliative Care, USA)

座長: 西山正彦 (東札幌病院)

13:00-17:00 シンポジウム3

安楽死・医師による自殺幫助と緩和ケア、
その本質的な議論に臨む座長: **Harvey Max Chochinov** (University of Manitoba, Canada)副座長: **Friedrich Stiefel** (Lausanne University Hospital, Switzerland)

序論

Harvey Max Chochinov (University of Manitoba, Canada)

死、尊厳、そして死への希求

Harvey Max Chochinov (University of Manitoba, Canada)医師が患者の死を早める事の倫理的、法的、そして専門家の
適応状況**Richard Huxtable** (University of Bristol, UK)

医師が死を早める事に対する精神科的真相と実存的問題

William Breitbart (Memorial Sloan Kettering Cancer Center, USA)

医学的な死への幫助はいつが適切なのか?

Madelaine Li (Princess Margaret Cancer Centre, Canada)

本イベントに関するお問い合わせ先

医療法人東札幌病院

TEL 011-812-2311 FAX 011-823-9552

E-mail: office@sapporoconference.com

http://www.sapporoconference.com